

### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5460m付近に $-27^{\circ}\text{C}$ 以下の寒気を伴うトラフがあって、東～北日本を通過中。東日本では大気の状態が不安定となっており、雷を検知し1時間に10mm前後の降水を解析。
- ② 中国東北区には500hPa5460m付近に $-27^{\circ}\text{C}$ 以下の寒気を伴ったトラフがあって、南東進。
- ③ 千島近海に発達した低気圧があってほとんど停滞。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなっており、東～北日本ではやや強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、4日夜には日本の東へ進む。東日本では、上空寒気と日中の昇温の影響で大気の状態が不安定となる所がある。東日本では4日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ② 1項②のトラフは、5日朝には黄海付近に進み、その後寒冷渦となり6日にかけて日本海で動きが遅くなる。このトラフや寒冷渦に対応した低気圧が、5日には朝鮮半島を通過し、その後6日にかけて日本海を北東進。この低気圧からのびるシアーラインが5～6日に西～北日本を通過する。シアーラインや低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、上空寒気の影響が加わり大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って強い雨の降る所がある。西日本では5～6日は、東～北日本では6日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項③の低気圧周辺と、日本海から日本の東へ移動する高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、雪を伴って強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。東～北日本では5日にかけて、強風や高波に注意。北日本では風雪にも注意。
- ④ 6日は南西諸島では、2項③の高気圧後面の南よりの風と東シナ海の高気圧からの北よりの風が収束し、大気の状態が不安定となり、雷を伴って強い雨の降る所がある。南西諸島では6日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：北海道4、東北・伊豆諸島3m。

### 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。